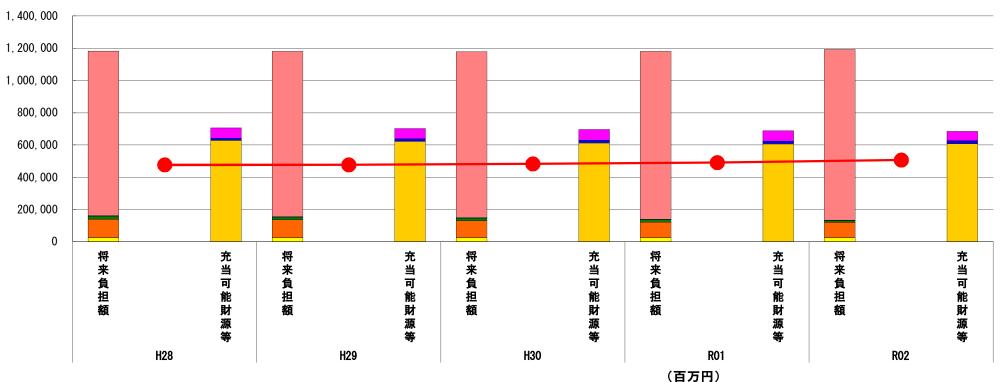
(10) 将来負担比率 (分子) の構造 (都道府県)

令和2年度

和歌山県

(百万円)



分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
将来負担額(A)		一般会計等に係る地方債の現在高	1, 020, 761	1, 024, 364	1, 029, 197	1, 041, 122	1, 056, 650
		債務負担行為に基づく支出予定額	3, 865	3, 443	3, 154	2, 867	1, 630
		公営企業債等繰入見込額	16, 844	16, 082	15, 220	14, 301	13, 523
		組合等負担等見込額	-	1	ı	1	-
		退職手当負担見込額	114, 775	110, 926	105, 665	97, 840	95, 013
		設立法人等の負債額等負担見込額	25, 792	25, 558	25, 218	24, 281	24, 303
		うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	1	-	-
		連結実質赤字額	-	1	1	-	-
		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	1	-	-
充当可能財源等(B)		充当可能基金	63, 674	63, 890	65, 072	63, 235	58, 235
		充当可能特定歳入	13, 735	16, 456	18, 965	18, 808	17, 123
		基準財政需要額算入見込額	627, 999	621, 795	611, 568	606, 506	608, 772
(A) - (B)	-	将来負担比率の分子	476, 630	478, 231	482, 848	491, 862	506, 989

分析欄

令和2年度の将来負担比率の分子は、防災・減災、国土強靭化のための緊急対策等に伴う地方債残高の増加等により、前年度に比べ151億円増加となった。

今後、予算の収支不足を補うための行政改革 推進債等を活用した場合、将来負担は増加して いくおそれもあるため、事業の効率化・重点化 によりこれらの県債発行を抑制するなど行財政 改革の推進により健全化を図っていく。